

3. 6 子ども学専攻

(1) 教育課程

「福祉と教育が融合した子ども学」を学ぶために、子ども学専攻の教育課程は、1)専門共通科目と2)専門科目の2つから構成されている。保健・福祉の知識及び方法の基礎的修得と子どもの育ちと学びを支えるための専門知識と技術とを有機的に結びつける構成により、実践的な指導ができる力量の強化を目指しているところに特色がある。なお、子ども学専攻における専門科目は、幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格を有する専門職として必要な、知識や方法に関する科目を必修科目として、より専門性を高めるための科目を選択科目として設置している。

子ども学専攻 教育課程(カリキュラム)		概 要
専門共通科目		保健福祉学の基礎理論や関連諸科学の専門的知識を修得する。 1年次から4年次までの小グループによる一貫教育を通して、研究方法を修得すると共に、卒業論文の執筆にむけた指導を行う。
専 門 科 目	教育学科目	教育の基礎理論や、教師の職務、子どもの育ちと学びにかかわる環境について理解する。
	幼児教育・保育学 科目	幼児の教育・保育に必要な理論や知識、内容、方法や技術を修得する。さらに教育実習・保育実習によりそれらを総合的に活用する力量を形成する。
	学際科目	子どもと家庭・地域社会の問題を理解し、支援するための保健福祉学的視点と力量を修得する。

(2) 履修上の留意点

共通教育科目(2-7頁参照)は、教育職・保育職に求められる豊かな知識・教養を涵養するものであるとともに、専門に進む基礎となるものである。このため、1、2年次で履修することが望ましい。

専門共通科目は、保健福祉学の理論と方法の基礎を修得するものである。また、1年次から4年次まで全学年で少人数制のゼミナール教育を実施しており、大学での学びへの導入から専門研究へと段階的に導いていく内容となっている。1年次の「入門ゼミナール」では、保健福祉学という視点から大学での学びの導入を行い、2年次の「基礎ゼミナール」では子ども学という視点から研究方法の基礎を学ぶ。3年次後期からは研究室に所属し、4年次の「研究ゼミナール」において卒業研究に取り組み卒業論文を作成する。但し、「研究ゼミナール」の履修には3年次までに所定の単位数を修得していることが必要である。

専門科目は、子どもの育ちと学びに関わる理論や知識、方法・技術を修得するとともに実践的指導力・支援力を培うものである。そのため、子ども学専攻専門科目の内容は、教育学科目、幼児教育・保育学科目、学際科目の3つの領域科目から構成されている。学年に従って段階的に各領域科目の学修を積み重ねると共に、教育実習・保育実習における実践とその振り返りからさらに学びを深めていく。なお、専門科目の多くは卒業に必要な不可欠な科目となっている。また、各年次に開講されている教育実習及び保育実習の履修に必要な科目については必ず履修し修得しなければならない。

(3) 研究ゼミナールの履修要件

「研究ゼミナール」は、卒業研究に取り組むための4年次の必修科目である。子ども学専攻の「研究ゼミナール」の履修要件は、4年次に研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することにより卒業要件単位(共通教育科目と学部教育科目を総合した124単位)を満たすものとする。

(4) 子ども学専攻 授業科目

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
			1	2	3	4			
専門共通科目	保健福祉学入門	講義	中村(光)・村社	◎				30	2
	社会福祉原論	講義	井村	◎				30	2
	地域福祉論	講義	井村		○			30	2
	社会保障論Ⅰ	講義	岩満	○				30	2
	高齢者福祉論Ⅰ	講義	桐野	○				30	2
	障害者福祉論	講義	坂野	○				30	2
	児童福祉論Ⅰ	講義	周防	○				30	2
	児童福祉論Ⅱ	講義	周防		○			30	2
	社会福祉施設経営論	講義	井上			○		30	2
	ソーシャルワーク論	講義	村社	○				30	2
	人体の構造と機能Ⅰ	講義	藤井	◎				30	2
	身体機能と障害	講義	中村(光)、高戸		○			30	2
	知的発達と障害	講義	中村(光)		○			30	2
	教育基礎論	講義	佐藤(和)	◎				30	2
	臨床心理学	講義	樂木			○		30	2
	地域保健福祉演習	演習	二宮・久保田・坂野			○		30	1
	入門ゼミナール〔隔週〕	演習	学科教員	◎				30	1
	基礎ゼミナール〔隔週〕	演習			◎			30	1
	専門ゼミナール〔隔週〕	演習				◎		30	1
	研究ゼミナール	演習					◎	120	4
専門科目	国語	講義	樟本		◎			30	2
	生活	講義	※高橋(多)			◎		30	2
	音楽Ⅰ(声楽)	演習	新任	◎				30	1
	音楽Ⅰ(ピアノ①)	演習	新任 他	◎				30	1
	音楽Ⅱ(ピアノ②)	演習	新任 他		○			30	1
	音楽Ⅱ(ピアノ③)	演習	新任 他			○		30	1
	図画工作Ⅰ	演習	関崎			◎		30	1
	図画工作Ⅱ	演習	関崎			◎		30	1
	体育Ⅰ(表現運動)	演習	新山			◎		30	1
	体育Ⅱ(運動遊び)	演習	新山			◎		30	1
	教師論	講義	佐藤(和)		◎			30	2
	教育と社会	講義	池田		◎			30	2
	教育心理学	講義	樟本	◎				30	2
	子どもの心理学	演習	樂木・樟本		◎			30	1
	障害児の発達と教育	演習	京林		◎			30	1
	カリキュラム論	講義	佐藤(和)			◎		30	2
	保育内容総論	演習	柏	◎				30	1
	保育内容Ⅰ(健康)	演習	新山・※渡部		◎			30	1
	保育内容Ⅰ(人間関係)	演習	京林	◎				30	1
	保育内容Ⅰ(環境)	演習	※高橋(多)		◎			30	1
	保育内容Ⅰ(言葉)	演習	樟本		◎			30	1
	保育内容Ⅰ(造形表現)	演習	関崎		◎			30	1
	保育内容Ⅰ(音楽表現A)	演習	※非常勤		◎			30	1
	保育内容Ⅰ(音楽表現B)	演習	新任・※非常勤		◎			30	1
	保育内容Ⅰ(身体表現)	演習	新山		◎			30	1
	保育内容Ⅱ(音楽表現)	演習	新任・※非常勤				◎	30	1
	保育内容Ⅱ(総合表現)	演習	新山・新任・樟本				◎	45	2
	保育内容指導法	演習	※入江			◎		30	1
	障害児指導法	演習	京林			◎		30	1
	幼児教育方法論	講義	柏			◎		30	2
	幼児理解の理論と方法	講義	樟本・池田・京林		◎			30	2
	保育・教育相談	演習	中野			◎		30	1
	子ども臨床基礎論	講義	中野・樟本	◎				30	2
子どもの発達と表現	演習	新山・新任・京林		○			30	1	
子どもの発達と支援	演習	京林				○	30	1	

96 単 位

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び 必修選択の別				開講 時間数	開講 単位数	卒業要件 単位数	
			1	2	3	4				
専 門 科 目	子どもの保健ⅠA	講義	藤井		◎			30	2	96 単 位
	子どもの保健ⅠB	講義	※荊木		◎			30	2	
	子どもの保健Ⅱ	演習	沖本 他			○		30	1	
	子どもの食と栄養Ⅰ	演習	山本（登）			◎		30	1	
	子どもの食と栄養Ⅱ	演習	新田			○		30	1	
	子ども家庭支援論	講義	中野			◎		30	2	
	相談援助演習	演習	中野			◎		30	1	
	保育原理Ⅰ	講義	池田	◎				30	2	
	保育原理Ⅱ	講義	池田			○		30	2	
	乳児保育Ⅰ	演習	柏			◎		30	1	
	乳児保育Ⅱ	演習	柏			○		30	1	
	社会的養護原理	講義	中野		◎			30	2	
	社会的養護内容	演習	中野		◎			30	1	
	保育・教職実践演習	演習	佐藤(和) 他				◎	60	2	
	教育実習	実習	佐藤(和)・樟本 他			◎		180	4	
	教育実習指導	演習	佐藤(和)・樟本・柏			◎		30	1	
	保育実習ⅠA	実習	中野・京林		◎			90	2	
	保育実習指導ⅠA	演習	中野・京林		◎			30	1	
	保育実習ⅠB	実習	柏 他			◎		90	2	
	保育実習指導ⅠB	演習	柏 他			◎		30	1	
	保育実習Ⅱ	実習	池田 他				○	90	2	
	保育実習指導Ⅱ	演習	池田 他				○	30	1	
	保育実習Ⅲ	実習	中野・京林				○	90	2	
保育実習指導Ⅲ	演習	中野・京林				○	30	1		

「◎」は必修科目、「○」は選択科目、「※」は非常勤講師
資格取得に関しては「資格取得に必要な授業科目及び単位数」を参照のこと。
学部教育科目の卒業要件単位数 96単位
卒業要件単位数 124単位（共通教育科目の卒業要件28単位を含む）

(5) 資格取得

1) 幼稚園教諭一種免許状

①資格の概要

幼稚園教諭は、学校教育法に定められた幼稚園において「幼児の保育をつかさどる」(学校教育法第27条)教員である。幼稚園教諭は家庭・地域社会と連携しながら生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担っている。

②免許状の種類 幼稚園教諭一種免許状

子ども学専攻では必要な単位数を修得することにより、卒業と同時に幼稚園教諭一種免許状を取得することができる。

③基礎資格と最低修得単位数

教育職員免許法では「基礎資格」を有し、「文部科学省令に定める科目(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)」、「教職に関する科目」、「教科に関する科目」及び「教科または教職に関する科目」について所定の単位数(最低修得単位)が定められている。それに基づいて本学での開設科目と単位数を定めている(表4参照)。

	基礎資格	最低修得単位数	文部科学省令に定める科目(8単位)	教科に関する科目(6単位)	教職に関する科目(35単位)	教科または教職に関する科目(10単位)
幼一種免	学士の学位	本学子ども学専攻	8単位	10単位	38単位	10単位

()内は法定単位数

④単位修得及び履修の方法

(1)学士の学位を有すること

教育職員免許状を取得するには、基礎資格である学士の学位(卒業)を有することが前提となる。また、専攻に指定された卒業に必要な科目を修得しなければならない。さらに、その中には文部科学省令に定める、教育職員免許法施行規則第66条の6の科目(7科目 8単位)を含むという制限があるので注意をして履修すること。

(2)教科に関する科目 10単位以上

「教科に関する科目」は免許状の教科別に定められた科目で、専門科目の一部からなっている。一部の科目を除き必修となる。

(3)教職に関する科目 38単位

「教職に関する科目」は免許状を取得するうえで、すべての科目が必修となる。

(4)教科又は教職に関する科目 10単位以上

「教科又は教職に関する科目」は、免許状を取得するうえで、一部の必修科目を除き、選択科目となる。

⑤教育実習について

教育実習は、教員免許状の取得を目指す学生たちにとっては欠かすことのできないものである。実際の教育現場において、大学で学んだ理論や知識を生かすとともに、教育の現場に触れながら教育の実践的な知識、技能等の基礎を修得するものである。実習についての詳細は教育実習の手引きに記載されている。

(1)教育実習の期間と単位数

種類	期間	科目名	単位	年次
幼稚園教育実習	4週間	教育実習	4	3
		教育実習指導	1	3

(2)教育実習履修資格

教育実習を履修するには、原則として以下の履修要件を満たすことが必要である。

- ア) i 教科に関する科目を3科目4単位以上修得していること。
- ii 教職に関する科目を15科目以上20単位以上修得していること。
- iii 文部科学省令に定める科目(教育職員免許法施行規則第66条の6)を全て修得していること。
- イ)教育実習の事前指導を受けていること。
- ウ)伝染性疾患を有しない者。
- エ)その他、実習に支障のないものであること。

⑥教職実践演習について

教職実践演習(「保育・教職実践演習」)は教職課程の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として形成されたかについて確認する科目である。したがって、4年次後期に開講され、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置づけられている。本学における「保育・教職実践演習」を履修するためには以下の条件を満たしていることが必要である。

- ア)各年次の専攻オリエンテーションに必ず参加していること。
- イ)1年次から履修している教職課程科目について、履修カルテⅠ及びⅡを作成していること。
- ウ)履修履歴に関して担当教員との面談を行っていること。
- エ)原則として、教育実習を終えていること。

2) 保育士資格

①資格の概要

保育士は、児童福祉法に「専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」(児童福祉法第18条の4)と定められている。保育士は保育所をはじめとした児童福祉施設に必置の専門職であり、子ども及び子育て支援の中核を担う専門職として重要な役割を担っている。

②資格の種類 保育士(国家資格)

子ども学専攻では必要な単位数を修得することにより、卒業と同時に保育士資格を取得することができる。

③単位修得及び履修の方法

厚生労働省告示により保育士を養成する学校の修業教科目と単位数が定められている。それに基づいて本学での開講科目と単位数を定めている(表5参照)。

(1)教養科目 10単位以上

教養科目においては卒業必修科目以外に、「スポーツ科学」及び「健康スポーツ A」は必ず履修し修得すること。

(2)必修科目 54単位

すべての科目が必修となる。

(3)選択必修科目 9単位以上

選択必修科目においては、保育実習Ⅱ及び保育実習指導Ⅱ、または保育実習Ⅲ及び保育実習指導Ⅲのいずれかを必ず履修し修得すること。

④保育実習について

保育実習は、保育士養成校において修得した知識や技術を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うことを目的としている。実習についての詳細は保育実習(保育所・施設)の手引きに記載されている。

(1)保育実習の期間と単位数

種 類		期 間	科 目 名	単 位	年 次
必 修	児童福祉施設 (保育所以外)での実習	10日間 (宿泊)	保育実習ⅠA	2	2
			保育実習指導ⅠA	1	2
	保育所での実習	10日間	保育実習ⅠB	2	3
			保育実習指導ⅠB	1	3
選 択 必 修	保育所での実習	10日間	保育実習Ⅱ	2	4
			保育実習指導Ⅱ	1	4
	児童福祉施設 (保育所以外)での実習	10日間	保育実習Ⅲ	2	4
			保育実習指導Ⅲ	1	4

(2)保育実習履修資格

保育実習(「保育実習ⅠA」、「保育実習ⅠB」、「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」)を履修するには、以下の履修要件を満たすことが必要である。

- ア)各実習に該当する保育実習指導を合わせて履修すること。
- イ)原則として、保育士資格に必要な授業科目(表5)の内、各実習までに開講されている必修科目を修得していること。
- ウ)健康診断、麻疹抗体検査、腸内細菌検査等を事前に受診していること。
- エ)その他、実習に支障のないものであること。

⑤保育士登録について

「保育士」として業務を行う場合、都道府県知事に対し、業務に就く前に保育士登録手続きを行う必要がある(児童福祉法第18条の6、第18条の18)。保育士登録手続きは4年次後期に大学を通して行う。

3) 社会福祉主事

資格の概要及び指定科目については、表3を参照のこと。

表4 幼稚園教諭一種免許状を取得するために必要な授業科目

教育職員免許法施行規則に定める科目		子ども学専攻開講科目	授業の方法	配当時間数	配当単位数	必修選択の別		
教科に関する科目	国語	国語	講義	30	2	必修		
	生活	生活	講義	30	2	必修		
	音楽	音楽Ⅰ(声楽)	音楽Ⅰ(声楽)	演習	30	1	必修	
		音楽Ⅰ(ピアノ①)	音楽Ⅰ(ピアノ①)	演習	30	1	必修	
		音楽Ⅱ(ピアノ②)	音楽Ⅱ(ピアノ②)	演習	30	1	選択	
		音楽Ⅱ(ピアノ③)	音楽Ⅱ(ピアノ③)	演習	30	1	選択	
	図画工作	図画工作Ⅰ	図画工作Ⅰ	演習	30	1	必修	
		図画工作Ⅱ	図画工作Ⅱ	演習	30	1	必修	
	体育	体育Ⅰ(表現運動)	体育Ⅰ(表現運動)	演習	30	1	必修	
		体育Ⅱ(運動遊び)	体育Ⅱ(運動遊び)	演習	30	1	必修	
	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教師論	講義	30	2	必修	
		教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	教育基礎論	講義	30	2	必修
			教育心理学	教育心理学	講義	30	2	必修
			子どもの心理学	子どもの心理学	演習	30	1	必修
			障害児の発達と教育	障害児の発達と教育	演習	30	1	必修
			教育と社会	教育と社会	講義	30	2	必修
		教育課程及び指導法に関する科目	カリキュラム論	カリキュラム論	講義	30	2	必修
			保育内容総論	保育内容総論	演習	30	1	必修
			保育内容Ⅰ(健康)	保育内容Ⅰ(健康)	演習	30	1	必修
			保育内容Ⅰ(人間関係)	保育内容Ⅰ(人間関係)	演習	30	1	必修
保育内容Ⅰ(環境)			保育内容Ⅰ(環境)	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ(言葉)			保育内容Ⅰ(言葉)	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ(造形表現)			保育内容Ⅰ(造形表現)	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ(音楽表現A)			保育内容Ⅰ(音楽表現A)	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ(音楽表現B)			保育内容Ⅰ(音楽表現B)	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅰ(身体表現)			保育内容Ⅰ(身体表現)	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅱ(音楽表現)			保育内容Ⅱ(音楽表現)	演習	30	1	必修	
保育内容Ⅱ(総合表現)			保育内容Ⅱ(総合表現)	演習	45	2	必修	
保育内容指導法			保育内容指導法	演習	30	1	必修	
障害児指導法			障害児指導法	演習	30	1	必修	
幼児教育方法論	幼児教育方法論	講義	30	2	必修			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論と方法	幼児理解の理論と方法	講義	30	2	必修		
	保育・教育相談	保育・教育相談	演習	30	1	必修		
教育実習	教育実習	教育実習	実習	180	4	必修		
	教育実習指導	教育実習指導	演習	30	1	必修		
教職実践演習	保育・教職実践演習	演習	60	2	必修			
教科または教職に関する科目	身体機能と障害	身体機能と障害	講義	30	2	選択		
	知的発達と障害	知的発達と障害	講義	30	2	選択		
	子どもの保健ⅠA	子どもの保健ⅠA	講義	30	2	選択		
	子どもの食と栄養Ⅰ	子どもの食と栄養Ⅰ	演習	30	1	選択		
	子ども臨床基礎論	子ども臨床基礎論	講義	30	2	必修		
	子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	講義	30	2	選択		
	子どもの発達と支援	子どもの発達と支援	演習	30	1	選択		
	子どもの発達と表現	子どもの発達と表現	演習	30	1	選択		
規則第6条の6施行に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	講義	30	2	必修		
	体育	健康スポーツA	講義・実技	30	1	必修		
		健康スポーツB	講義・実技	30	1	必修		
	外国語コミュニケーション	English Language Program 1	演習	30	1	必修		
		English Language Program 3	演習	30	1	必修		
	情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	演習	30	1	必修		
コンピュータ演習Ⅱ		演習	30	1	必修			

表5 保育士の資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

保育士を養成する学校の修業教科目 (平成22年厚生労働省告示第278号)				保健福祉学科子ども学専攻 における開設科目等		備 考				
区分	教育内容		単位数	授業科目等の名称	配当単位数					
教養科目	外国語	演習	2以上	English Language Program 1	1	左記の授業科目を必ず履修し、 修得すること。				
				English Language Program 2	1					
				English Language Program 4	1					
	体育	講義 実技	1 1	スポーツ科学	1					
				健康スポーツA	1					
	外国語・体育以外の科目		6以上	心理学	2					
				日本国憲法	2					
				人文・社会科学要論	2					
				自然科学要論	2					
				コンピュータ演習Ⅰ	1					
コンピュータ演習Ⅱ	1									
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	講義	2	保育原理Ⅰ	2	左記の授業科目を必ず履修し、 修得すること。				
				教育原理	2					
				児童家庭福祉	2					
				社会福祉	2					
				相談援助	1					
				社会的養護	2					
				保育者論	2					
	保育の対象の理解に関する科目	講義 演習	2 1	保育の心理学Ⅰ	2					
				保育の心理学Ⅱ	1					
				子どもの保健Ⅰ	講義		4	子どもの保健ⅠA	2	
								子どもの保健ⅠB	2	
				子どもの保健Ⅱ	演習		1	子どもの保健Ⅱ	1	
				子どもの食と栄養	演習		2	子どもの食と栄養Ⅰ	1	
								子どもの食と栄養Ⅱ	1	
	家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	2					
	保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	講義	2	カリキュラム論		2			
					保育内容総論		1			
		保育内容演習	演習	5	保育内容Ⅰ(健康)		1			
					保育内容Ⅰ(人間関係)		1			
					保育内容Ⅰ(環境)		1			
					保育内容Ⅰ(言葉)		1			
					保育内容Ⅰ(造形表現)		1			
					保育内容Ⅰ(音楽表現B)		1			
					保育内容Ⅰ(身体表現)		1			
		乳児保育	演習	2	乳児保育Ⅰ		1			
					乳児保育Ⅱ		1			
		障害児保育	演習	2	障害児の発達と教育		1			
					障害児指導法		1			
	社会的養護内容	演習	1	社会的養護内容	1					
	保育相談支援	演習	1	保育・教育相談	1					
保育の表現技術	保育の表現技術	演習	4	体育Ⅰ(表現運動)	1					
				図画工作Ⅰ	1					
				音楽Ⅰ(ピアノ①)	1					
				音楽Ⅰ(声楽)	1					
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習ⅠA	2					
				保育実習ⅠB	2					
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導ⅠA	1					
保育実習指導ⅠB				1						
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習	2					
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目		15以上	児童福祉論Ⅱ	2	左記の授業科目から6単位以上履修し、修得すること。				
				社会福祉施設経営論	2					
				保育原理Ⅱ	2					
	保育の対象の理解に関する科目				臨床心理学		2			
					保育内容Ⅱ(総合表現)		2			
					体育Ⅱ(運動遊び)		1			
	保育の表現技術				図画工作Ⅱ		1			
					音楽Ⅱ(ピアノ②)		1			
					音楽Ⅱ(ピアノ③)		1			
					保育内容Ⅰ(音楽表現A)		1			
					保育内容Ⅱ(音楽表現)		1			
					保育内容指導法		1			
					保育実習Ⅱ		実習	2	保育実習Ⅱ	2
					保育実習指導Ⅱ		演習	1	保育実習指導Ⅱ	1
					保育実習Ⅲ		実習	2	保育実習Ⅲ	2
保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅲ	1						

(注) 1. 他大学における授業科目の履修等については、学則第36条第3項、第37条第2項及び第38条第2項中の「60単位」は、「30単位」と読み替えてこの表を適用する。 2. 子ども学専攻以外の学生は、原則として子ども学専攻の専門科目の演習・実習の授業科目を履修できない。

図3 子ども学専攻カリキュラムマップ

学年	Q	共通教育科目(必修科目)						子ども学専攻授業科目												
								専門共通科目	教育学	幼児教育・保育学				学際科目						
		修学基礎	人文・社会科学	自然科学	健康科学	語学国際	社会連携													
1年	1Q	大学で学ぶ フレッシュマンセミナー	人文・社会科学要論	コンピュータ演習Ⅰ S①	健康スポーツA S①	ELP1		保健福祉学入門			音楽Ⅰ(声楽) S①		子ども臨床基礎論							
	2Q		心理学	コンピュータ演習Ⅰ S②	健康スポーツA S②	ELP2	おかもぼランディア論	社会福祉原論			音楽Ⅰ(声楽) S②									
	3Q		日本国憲法	コンピュータ演習Ⅱ S①	健康スポーツB S①	ELP3	おかもぼを学ぶ	高齢者福祉論Ⅰ	入門ゼミナール	教育心理学	音楽Ⅰ(ピアノ) S①									
	4Q			コンピュータ演習Ⅱ S②	健康スポーツB S②	ELP4		児童福祉論Ⅰ			音楽Ⅰ(ピアノ) S②									
	集中						おかもぼランディア演習	ソーシャルワーク論			保育内容Ⅰ(人間関係)	保育原理Ⅰ								
2年	1Q					ELP5	地域再生実践論	身体機能と障害	基礎ゼミナール	障害児の発達と教育	保育内容Ⅰ(音楽表現B)	社会的養護原理		子どもの保健ⅠA						
	2Q										保育内容Ⅰ(身体表現)									
	3Q							地域福祉論			音楽Ⅱ(ピアノ) S①		保育実習指導ⅠA S①	子どもの発達と表現						
	4Q					ELP6		児童福祉論Ⅱ		教師論	子どもの心理学	音楽Ⅱ(ピアノ) S②	保育実習指導ⅠA S②	子どもの保健ⅠB						
	集中						地域協働演習	知的発達と障害		教育と社会	国語	社会的養護内容								
3年	1Q								専門ゼミナール	カリキュラム論	音楽Ⅲ(ピアノ) S①	乳児保育Ⅰ		子どもの食と栄養Ⅰ						
	2Q									臨床心理学	保育内容指導法	乳児保育Ⅱ	教育実習指導 S①	子ども家庭支援論						
	3Q							社会福祉施設経営論			図画工作Ⅰ			子どもの食と栄養Ⅱ						
	4Q									体育Ⅰ(表現運動)	図画工作Ⅱ	保育原理Ⅱ	教育実習指導 S②	保育実習指導ⅠB S①	子どもの保健Ⅱ S①					
	集中									生活		教育実習	保育実習ⅠB							
4年	1Q								研究ゼミナール		保育内容Ⅱ(音楽表現)		保育実習指導Ⅱ S①	保育実習指導Ⅲ S①						
	2Q	<p>・実践で困った科目は卒業必修科目、点線で困った科目は卒業選択科目を表しています。 (幼稚園免許または保育士資格取得のための必修科目は表○にて確認のこと) ・「S①」「S②」はセメスター科目を示しています。</p>																		
	3Q													幼児教育方法論	保育内容Ⅱ(総合表現)		保育実習指導Ⅱ S②	保育実習指導Ⅲ S②		
	4Q													障害児指導法						
集中																		保育・教職実践演習	保育・教育相談	

(6) 子ども学専攻履修モデル

1) 幼稚園教諭を目指す場合

		1年次		2年次		3年次		4年次	
共通 教育 科目	大学で学ぶ[共]	1	English Language Program 5[共]	1					
	フレッシュマンセミナー[共]	1	English Language Program 6[共]	1					
	人文・社会科学要論[共]	2							
	心理学[共]	2							
	日本国憲法[共]	2							
	自然科学要論[共]	2							
	コンピュータ演習Ⅰ[共]	1							
	コンピュータ演習Ⅱ[共]	1							
	健康スポーツA[共]	1							
	健康スポーツB[共]	1							
	スポーツ科学[共]	1							
	English Language Program 1[共]	1							
	English Language Program 2[共]	1							
	English Language Program 3[共]	1							
	English Language Program 4[共]	1							
	おかやまボランティア論[共]	1							
	おかやまを学ぶ[共]	1							
	小計	21		小計	2		小計	0	
全カテゴリーから3単位									3
共通教育科目合計									26
学部 教育 科目	入門ゼミナール〔隔週〕	1	基礎ゼミナール〔隔週〕	1	専門ゼミナール〔隔週〕	1	研究ゼミナール	4	
	保健福祉学入門	2	身体機能と障害	2	カリキュラム論	2	幼児教育方法論	2	
	教育基礎論	2	知的発達と障害	2	生活	2	障害児指導法	1	
	社会福祉原論	2	教師論	2	音楽Ⅱ（ピアノ③）	1	保育内容Ⅱ（音楽表現）	1	
	人体の構造と機能Ⅰ	2	教育と社会	2	図画工作Ⅰ	1	保育内容Ⅱ（総合表現）	2	
	教育心理学	2	障害児の発達と教育	1	図画工作Ⅱ	1	保育・教育相談	1	
	音楽Ⅰ（声楽）	1	子どもの心理学	1	体育Ⅰ（表現運動）	1	保育・教職実践演習	2	
	音楽Ⅰ（ピアノ①）	1	幼児理解の理論と方法	2	体育Ⅱ（運動遊び）	1			
	保育内容総論	1	国語	2	保育内容指導法	1			
	保育内容Ⅰ（人間関係）	1	音楽Ⅱ（ピアノ②）	1	乳児保育Ⅰ	1			
	保育原理Ⅰ	2	保育内容Ⅰ（健康）	1	子どもの食と栄養Ⅰ	1			
	子ども臨床基礎論	2	保育内容Ⅰ（環境）	1	子ども家庭支援論	2			
			保育内容Ⅰ（言葉）	1	相談援助演習	1			
			保育内容Ⅰ（造形表現）	1	保育実習指導ⅠB	1			
			保育内容Ⅰ（身体表現）	1	保育実習ⅠB	2			
			保育内容Ⅰ（音楽表現A）	1	教育実習指導	1			
			保育内容Ⅰ（音楽表現B）	1	教育実習	4			
			社会的養護原理	2					
			社会的養護内容	1					
			子どもの保健ⅠA	2					
			子どもの保健ⅠB	2					
			子どもの発達と表現	1					
			保育実習指導ⅠA	1					
		保育実習ⅠA	2						
	小計	19		小計	34		小計	13	
専門科目及び下記の履修可能な選択科目の中から10単位									10
専攻専門科目合計単位数									100
合計卒業単位数									126
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭免許（一種）の取得は卒業要件である。 ・幼稚園教諭免許を取得するためには、①学士の資格を有すること、②教科に関する科目10単位以上、③教職に関する科目38単位、④教科又は教職に関する科目10単位以上を修得すること。 ・幼稚園教育実習の履修条件は、ア) i 教科に関する科目を3科目4単位以上修得していること、ii 教職に関する科目を15科目以上20単位以上修得していること、iii 文部科学省令に定める科目（教育職員免許法施行規則第66条の6）を全て修得していること。 イ) 教育実習の事前指導を受けていること。ウ) 伝染性疾患を有しない者。エ) その他実習に支障のないものであること。 ・保育・教職実践演習の履修条件は、ア) 各年次の専攻オリエンテーションに必ず参加していること、イ) 1年次から履修している教職課程科目について履修カルテⅠ及びⅡを作成していること、ウ) 履修履歴に関して担当教員との面談を行っていること、エ) 原則として、教育実習を終えていること。 								
履修可能な選択科目	保健福祉学科学際科目								
	社会福祉学専攻専門科目	10単位まで履修可能（但し、講義科目のみ）							
	他学部・他学科科目	4単位まで履修可能							

2) 保育士を目指す場合

		1年次		2年次		3年次		4年次		
共通 教育 科目	大学で学ぶ[共]	1	English Language Program 5[共]	1						
	フレッシュマンセミナー[共]	1	English Language Program 6[共]	1						
	人文・社会科学要論[共]	2								
	心理学[共]	2								
	日本国憲法[共]	2								
	自然科学要論[共]	2								
	コンピュータ演習Ⅰ[共]	1								
	コンピュータ演習Ⅱ[共]	1								
	健康スポーツA[共]	1								
	健康スポーツB[共]	1								
	スポーツ科学[共]	1								
	English Language Program 1[共]	1								
	English Language Program 2[共]	1								
	English Language Program 3[共]	1								
	English Language Program 4[共]	1								
	おかやまボランティア論[共]	1								
	おかやまを学ぶ[共]	1								
	小計	21	小計	2	小計	0	小計	0		
	全カテゴリーから3単位									3
	共通教育科目合計単位数									26
学部 教育 科目	入門ゼミナール〔隔週〕	1	基礎ゼミナール〔隔週〕	1	専門ゼミナール〔隔週〕	1	研究ゼミナール	4		
	保健福祉学入門	2	児童福祉論Ⅱ	2	社会福祉施設経営論	2	幼児教育方法論	2		
	教育基礎論	2	身体機能と障害	2	臨床心理学	2	障害児指導法	1		
	社会福祉原論	2	知的発達と障害	2	カリキュラム論	2	保育内容Ⅱ（音楽表現）	1		
	児童福祉論Ⅰ	2	教師論	2	生活	2	保育内容Ⅱ（総合表現）	2		
	人体の構造と機能Ⅰ	2	教育と社会	2	音楽Ⅱ（ピアノ③）	1	保育・教育相談	1		
	教育心理学	2	障害児の発達と教育	1	図画工作Ⅰ	1	保育・教職実践演習	2		
	音楽Ⅰ（声楽）	1	子どもの心理学	1	図画工作Ⅱ	1	保育実習指導ⅡまたはⅢ	1		
	音楽Ⅰ（ピアノ①）	1	幼児理解の理論と方法	2	体育Ⅰ（表現運動）	1	保育実習ⅡまたはⅢ	2		
	保育内容総論	1	国語	2	体育Ⅱ（運動遊び）	1				
	保育内容Ⅰ（人間関係）	1	音楽Ⅱ（ピアノ②）	1	保育内容指導法	1				
	保育原理Ⅰ	2	保育内容Ⅰ（健康）	1	保育原理Ⅱ	2				
	子ども臨床基礎論	2	保育内容Ⅰ（環境）	1	乳児保育Ⅰ	1				
			保育内容Ⅰ（言葉）	1	乳児保育Ⅱ	1				
			保育内容Ⅰ（造形表現）	1	子どもの保健Ⅱ	1				
			保育内容Ⅰ（身体表現）	1	子どもの食と栄養Ⅰ	1				
			保育内容Ⅰ（音楽表現A）	1	子どもの食と栄養Ⅱ	1				
			保育内容Ⅰ（音楽表現B）	1	子ども家庭支援論	2				
			社会的養護原理	2	相談援助演習	1				
			社会的養護内容	1	保育実習指導ⅠB	1				
			子どもの保健ⅠA	2	保育実習ⅠB	2				
			子どもの保健ⅠB	2	教育実習指導	1				
			子どもの発達と表現	1	教育実習	4				
			保育実習指導ⅠA	1						
			保育実習ⅠA	2						
	小計	21	小計	36	小計	33	小計	16		
	専門科目及び下記の履修可能な選択科目の中から10単位									10
	専攻専門科目合計単位数									116
	合計卒業単位数									142
	履修 上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭免許（一種）の取得は卒業要件である。 ・保育士資格を取得するためには、①教養科目10単位以上、②必修科目54単位、③選択必修科目9単位以上を修得すること。 ・保育実習履修条件は、ア）各実習に該当する保育実習指導を合わせて履修すること。イ）原則として、保育士資格に必要な授業科目（表3-6-2）の内、各実習までに開講されている必修科目を修得していること。ウ）健康診断、麻疹抗体検査、腸内細菌検査等を事前に受診していること。エ）その他実習に支障のないものであること。 ・保育・教職実践演習の履修条件は、ア）各年次の専攻オリエンテーションに必ず参加していること、イ）1年次から履修している教職課程科目について履修カルテⅠ及びⅡを作成していること、ウ）履修履歴に関して担当教員との面談を行っていること、エ）原則として、教育実習を終えていること。 								
履修可能な選択科目		保健福祉学科学際科目								
		社会福祉学専攻専門科目	10単位まで履修可能（但し、講義科目のみ）							
	他学部・他学科科目	4単位まで履修可能								